

## 2021 年度 第 18 回 国家資格キャリアコンサルタント試験

### (キャリア協) 実技試験 (論述) 解答例 (中里)

※年齢や家族構成を丁寧に見ていくことで、相談者の問題点が見えてくる事例ですね。小さい子どもを育てながら、仕事にも手を抜かずに頑張っているお母さん社員の事例なので、「ワークライフバランス」が問題の中心になりそうです。ただ、そこにさらに「主任」への昇格という問題が重なることで、今だけではない将来に向けた働き方の展望にも注意が必要だということが見えてきます。

今回の事例でのキーワードは、「今のままがいいのに」「女性社員は補佐的な仕事が多く」「そんなに大層なことしていない」「周りに迷惑をかけたくない」「みんなも疲弊していると思う」「主任になったら…忙しく大変」「ちゃんとわかってくれているのかなと思う」などです。

今回の事例は問題のテーマが盛りだくさんですね。仕事理解、自己理解、思い込み、ワークライフバランス、ライフキャリアプラン、将来的展望、と考えると、全てのテーマを網羅してしまいます。的を少し絞ってみてもいいかもしれませんね。20 年間働き、上司からも活躍を期待されているにもかかわらず、「いまさらそんなこと言われても…」と自己評価は低いようです。真面目で一生懸命な相談者像を思い浮かべながら解答していきます。

**【設問 1】** 事例記録の中の「相談の概要」(略 A) の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。(10 点) 2 行

現在、経営企画室に在籍し、社内で女性社員の活躍の動きがある中、部長から突然経営企画室の主任に向け頑張してほしいと言われ、自分は今のままがいいのにどうしたらよいかわからなくなっている。

**【設問 2】** 事例記録の下線 B について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。(10 点) 2 行

部長から、主任になり活躍してほしいとの期待の言葉を受けた時の率直な感情を引き出すことで、相談者の相反する内的な葛藤を明確にし、自身の今の状況にとってどうすることが最適か気づきを促すため。

**【設問 3】** あなたが考える相談者の問題 (①) とその根拠 (②) について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。(20 点) 2x10 点 2 行・3 行

① **問題** 主任の仕事内容や自身の能力についてきちんと理解せず思い込みがあり、仕事内容・自己理解不足である。また、ワークライフバランスの視点で中・長期的に仕事を捉えられていないこと。

- ② **その根拠** 「女性社員は補佐的な仕事が多く」「主任は増々忙しく大変」「みんな疲弊している」など思い込みがあることから、仕事内容・自己理解不足である。また、「上の子は受験生」「子どものお迎えがあり」など今ここの視点でのみ捉え、中・長期的なワークライフバランスの視点で仕事を描けていない。

**【設問4】** 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。（10点）6行

子育てしながら仕事にも手を抜かずに頑張っている姿勢を支持し労う。その上で、まずは今の主任に実際の仕事内容について尋ね、主任をしながら子育てをしている人がいれば自身の状況について相談してみるよう促す。また、自身の働き方について夫を含め家族内で、中・長期的ライフキャリアプランを作成して、みることを提案する。その上で、企画室の業務量や業務内容の現状について部長に相談し、自身の現状と将来的展望について部長に伝え、ワークライフバランスの視点に立ったうえで主任になるタイミングなどについて検討し、相談者自身が納得のいく無理のない働き方について選択していけるよう支援する。